



チャレンジ・応援！山都ラボ

～ 第一回集会 ～ はじめまして。山都ラボです～ 開催！

<山都ラボとは？>



山都町を誰よりも楽しみたい大人のための実践と探究の場、『チャレンジ・応援！山都ラボ（以下、「山都ラボ」）』。

これまで山都町では、2015年から「食農観光塾」、2019年からは「山都経営塾」として、町民が自ら地域の課題解決に取り組むための学びの場を作ってきました。

この流れを引き継ぎつつ、地域の課題よりも魅力を起点に新たなチャレンジを応援する「山都ラボ」が今年度からスタートしました！山都町の豊富な資源を活かしつつ、自分がやりたいコト、ワクワクするコトにチャレンジする人（＝プロジェクトオーナー）とそれを応援する人たち（＝サポーター）の場です。

11月11日にそよ風パークで、山都ラボの「第一回集会～はじめまして。山都ラボです～」を開催しました。たくさんの応募の中から審査を経て選ばれたプロジェクトオーナー10名が発表。これからチャレンジするプロジェクトはどれも山都町への愛情とワクワク感たっぷりの素晴らしい内容で、集会は終始、和やかな雰囲気にも包まれていました。

当日の様子は【公式】YouTube 山都町山の都創造チャンネルにて見ることができます。

なお、山都町での取り組みを応援してくれるサポーターは年間通して募集しています。是非、お申し込みをお願いします！

採択プロジェクト (発表順)

- 井上 千代美
『未来へつなげ！巫女舞継承プロジェクト』
- 牛島 民雄
『里山復興プロジェクト「里山都」～山都町の「農業」「林業」「観光業」を楽しく体験～』
- 興紹 優理
『画家が描くオリジナルデザインの特産品開発』
- 椿村 真穂
『ジビエをもっと気軽に！ かけて焼くだけ！「ジビエ専用」のアウトドアスライスの開発・販売』
- 天野 慎也
『情報通信技術を活用して山都町を見て、記録することで、面白さを創出する』
- 塚本(間村)美樹
『山都町の歌を作る』
- 山本 一憲
『山都町にある宝石を活用し、クライミングで地域活性化!!! 素晴らしい効果がてんこもり』
- 古山 龍弥
『町も、人も、元気になる！「世界に通用するハーブティーブランド化プロジェクト!』
- ホワイト マクファレインライアン
『山都町マーケット』
- 藤川 里奈
『日本一地球と身体に優しいアイス屋さんを作って、山都町がエコタウンになる第一歩にしたい!』

【今年度取り組むプロジェクトオーナー一覧】



プロジェクトオーナーさん（前列）を応援する55名が集まりました。



←発表会の動画は
こちらから。
【公式】YouTube
山都町山の都創造チャンネル



←サポーター申込み
こちらから。
(申し込みフォームが開きます)

AC山都から町内保育園へ採れたて野菜の贈り物

10月13日、町内の若手農業後継者で構成されるAC山都より、町内の4つの保育園へ野菜の贈呈式が行われました。山都みらい保育園、明光保育園、さくらんぼ愛園、はるか保育園に訪れ、白菜やトマト、ピーマンなど会員が大切に育てた採れたて野菜を園児に贈りました。

たくさんの野菜を見て喜ぶ園児を前に会長の木野雅誠さんは、「町内でつくられた野菜を食べて健康で元気な体に育ててほしい。」と話されました。

AC山都では地域貢献活動の一環として、今後も町内保育園へ野菜の贈呈を計画されています。



小中学校へ無農薬米の贈呈

11月11日、清和小学校において無農薬米の贈呈式が行われました。この無農薬米は、県農業試験場跡地で栽培されたもので、山都町有機農業協議会から町内の小中学校に贈られるものです。贈呈された無農薬米は「山都町オーガニック学校給食週間」で使用されます。

町では、有機農業の推進及び子どもたちへの食育の一環として、昨年より学校給食に有機米を導入しています。



贈呈式(清和小学校)

第1回山都町オーガニック学校給食週間を実施しました

11月14日から18日にかけて、町内の小中学校で第1回山都町オーガニック学校給食週間を実施し、給食で使用する野菜の一部を有機野菜に変更しました。

16日は、ホテル日航熊本の中野省吾総料理長、栄養教諭、調理師が開発した有機野菜を使用したメニューを提供し、有機農家などのメッセージ動画を流し、野菜をたくさん食べて元気に育ててほしいという思いを伝えました。第2回は12月12日の週に実施されます。



開発したメニュー
「スープ・オ・ピストゥ」



給食を食べる子どもたち
(中島小学校)

清和小学校「人権の花」運動終了式

11月8日、清和小学校において「人権の花」運動終了式が開催されました。この運動は、花を育てることで、生命の尊さを実感し、優しさと思いやりの心を育てることを目的としています。

式では、町長より学校に感謝状が贈られ、6年生の緒方董さんが人権擁護委員に大事に育てた花から採取した種を渡し、児童を代表して6年生の片山慎太郎さんが「花を育てることを通して、感謝する心や命の大切さを考えることができました」と挨拶されました。この種は次年度の実施校である御船町の小学校に引き継がれます。



清和小6年生と関係者